

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	新規薬剤導入による去勢抵抗性前立腺癌患者の予後と予後因子の検討
研究責任者 (所属科名)	泌尿器科 主任部長 三田耕司
本研究の目的・意義	去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）に対して新規薬剤が次々と導入され、その生存率の改善が報告されている。我が国においても、新規アンドロゲンレセプター（AR）標的薬であるエンザルタミドおよびアピラテロン、さらにタキサン系抗癌剤であるドセタキセルとカバジタキセルが保険適応となっており、CRPCに対する治療戦略は大きく変わりつつある。その一方で、我が国における CRPC の適正なリスク評価、予後予測や薬剤の至適な投与方法などについてはいまだ確立されておらず、治療戦略の確立のためには多数の症例による検討が急務といえる。本研究では薬物療法開始前の臨床・病理学的情報、選択薬剤とその効果、予後を後方視的に調査・解析することで CRPC に対する各薬剤の有効性ならびに予後の予測因子を探り、至適な投与方法を明らかにすることを目的とする。
調査方法・調査期間	2007年1月1日～2020年12月31日までに安佐市民病院泌尿器科で去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）に対し薬物療法が行なわれた方の情報を調査します。 調査期間は倫理委員会承認日から2020年12月31日までです。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2007年1月1日～2020年12月31日までに安佐市民病院泌尿器科で去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）に対し薬物療法が行なわれた方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報情報は削除致します。また、研究成果は学会・学術論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
共同研究機関	広島大学大学院医歯薬保健学研究院腎泌尿器科学 中国労災病院泌尿器科

	<p>安佐市民病院泌尿器科 県立広島病院泌尿器科 JA 広島総合病院泌尿器科 三次市立三次中央病院泌尿器科 国立病院機構東広島医療センター泌尿器科 国立病院機構呉医療センター泌尿器科 JA 尾道総合病院泌尿器科 国立病院機構福山医療センター泌尿器科 国立病院機構広島西医療センター泌尿器科 マツダ病院 泌尿器科 松山赤十字病院 泌尿器科 中津第一病院 泌尿器科</p>
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院 泌尿器科 主任部長 三田耕司 電話：082-815-5211 (代表)
備考	